

1. 製品および会社情報

GHS 製品名 : G510EF ゲイロード G510 アースフレンドリー多目的洗浄剤
包装単位 : 1 ガロンケース、2.5 ガロンケース、5 ガロンペール、15 ガロン
ドラム、30 ガロンドラム、55 ガロンドラム
製品分類 : 産業用油性洗浄剤
主な用途 : キッチン換気装置およびフィルターの脱脂洗浄
販売元 : 2010 Products (2010 プロダクツ) PO Box 7609 セイラム
オレゴン州 97303
緊急連絡先 : Chemtrec 1-800-424-9300 アカウント番号 : CCN4
日本販売元 : 株式会社東洋技研
〒654-0103 兵庫県神戸市須磨区白川台 3-62-3-304
緊急連絡先 : TEL 078-766-2915

2. 危険有害性情報

OSHA / HCS

ステータス : 本製品は米国労働安全衛生局 (OSHA) 危険有害性周知
基準 (29 CFR 1910.1200) によって危険有害性があると
みなされている。

物質 / 混合物の

分類 : 皮膚腐食 / 刺激 : カテゴリー2
深刻な眼障害 / 眼刺激 : カテゴリー2A

GHS ラベル要素

危険有害性絵表示 :



警告語 : 警告

危険性記述 : 深刻な眼および皮膚炎症を引き起こす。

使用上の注意

一般事項	:	使用前にラベルを読む。子どもの手の届かないところに保管する。医師の診察が必要な場合は、製品の容器またはラベルを手元に用意する。
予防措置	:	保護手袋を着用する。目または顔の保護具を着用する。使用後は手を水で十分に洗う。
対処	:	皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗い流す。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する前に洗う。皮膚炎症が生じた場合：医療処置を受ける。目に入った場合：水で数分間洗い流す。コンタクトレンズを装着しており、取り外し可能可能な場合は、コンタクトレンズを外す。引き続き洗浄を行う。目の炎症が持続する場合：医療処置を受ける。
保管	:	該当なし。
廃棄	:	該当なし。
他に分類されない		
危険性	:	知見なし。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の

区分 : 混合物

CAS 番号 / その他の他の識別手段

CAS 番号 : 該当なし。

製品コード :

成分名	%	CAS 番号
アルコール、C9-11、エトキシ化	5 - 10	68439-46-3
テトラナトリウム、エチレンジアミンテトラアセタート	1 - 5	64-02-8
水酸化カリウム	1 - 5	1310-58-3

本書で表示されている濃度範囲は、機密性の保護またはバッチ間の差異によるものである。現時点で利用可能な販売元の知識と濃度数値の範囲において、本節で報告すべき、健康または環境に対する危険有害性として分類された追加の成分はない。

職業ばく露限度がある場合、第 8 節に記載する。

KMK Regulatory Services Inc. Tel : +1-888-GHS-7769 (447-7769) / +1-450-GHS-7767 (447-7767)
www.kmkregservices.com www.askdrluc.com www.ghssmart.com

4. 応急措置

必要な応急措置の詳細

- 目に入った場合 : 直ちに多量の水で洗い流す。時折上下のまぶたを持ち上げて洗浄する。コンタクトレンズの有無を確認し、取り外す。少なくとも 20 分間目を洗う。医療処置を受ける。
- 吸入した場合 : 空気の清浄な場所へ移動し、呼吸のしやすい態勢で安静にする。呼吸停止、不規則な呼吸、または呼吸障害が生じた場合は、訓練を受けた者による人工呼吸または酸素供給を行う。口移し式蘇生措置の実施は、措置を行う者に対して危険を及ぼす可能性がある。不快症状が持続または悪化した場合は、医療処置を受ける。意識がない場合は、回復体位にして直ちに医療処置を受ける。気道を確保する。襟やネクタイ、ベルト、ウエストバンドなどの締め付けが強い衣服部分を緩める。火災によって分解生成物を吸引した場合、発症が遅れる可能性がある。ばく露を受けた者は、48 時間医学的監視を受ける必要がある可能性がある。医療処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された皮膚を多量の水で洗い流す。少なくとも 20 分間洗浄する。衣服および靴は再使用する前に洗う。
- 飲み込んだ場合 : 水で口内をゆすぐ。入れ歯がある場合は取り外す。空気の清浄な場所へ移動し、呼吸のしやすい態勢で安静にする。本製品を飲み込んだ結果、ばく露を受けた者の意識がある場合は、少量の水を数回飲ませる。嘔吐が危険な場合があるため、ばく露を受けた者の気分が悪くなった場合は水を飲ませない。医療関係者の指示があった場合のみ嘔吐させる。嘔吐した場合は、頭を低くして嘔吐物が肺に流入するのを防ぐ。不快症状が持続または悪化した場合は、医療処置を受ける。意識のない者に口移しで物を与えない。意識がない場合は、回復体位にして直ちに医療処置を受ける。気道を確保する。襟やネクタイ、ベルト、ウエストバンドなどの締め付けが強い衣服部分を緩める。

最も重大な症状／影響、急性および遅発性

健康への潜在的急性影響

- 目に入った場合 : 深刻な目の炎症を引き起こす。
- 吸入した場合 : 分解生成物へのばく露により、健康に対する危険有害性を引き起こす可能性がある。ばく露後、深刻な影響による発症が遅れる可能性がある。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚炎症を引き起こす。
- 飲み込んだ場合 : 口、喉および胃の炎症を引き起こす。

過剰ばく露による兆候 / 症状

- 目に入った場合 : 潜在的な不快症状には、以下のものが含まれる：
痛みまたは炎症
涙目
充血
- 吸入した場合 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。
- 皮膚に付着した場合 : 潜在的な不快症状には、以下のものが含まれる：
炎症
発赤
- 飲み込んだ場合 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。

求められる緊急医療処置および特別処置の指示

医師に対する

- 注意事項 : 火災によって分解生成物を吸引した場合、発症が遅れる可能性がある。ばく露を受けた者は、48 時間医学的監視を受ける必要がある可能性がある。

特別処置 : なし。

応急措置対応者への

- 保護措置 : 個人の危険性を伴う行為、または適切な訓練を受けることなく応急措置を行わない。口移し式蘇生措置の実施は、措置を行う者に対して危険を及ぼす可能性がある。

有害性情報（第 11 節）を参照

5. 火災時の措置

消火方法

- 適切な消火方法 : 火災に対して適切な消火方法をとる。
- 不適切な消火方法 : 知見なし。
- 化学物質から生じる
特定の危険 : 特定の火災または爆発の危険性はない。
- 危険熱的分解生成物 : 炭酸ガス
一酸化炭素
酸化窒素
酸化金属
- 消火作業員の特別防護措置 : 特別な防護措置は必要ない。
- 消火作業員の特別防護装備 : 消火作業員は適切な防護服、および陽圧モードで動作する全面形面体自給式呼吸器（SCBA）を着用する。

6. 漏出時の措置

人員に対する注意事項、防護装備、応急処置

- 非緊急時対応者 : 個人の危険性を伴う行為、または適切な訓練を受けることなく応急措置を行わない。防護装備を装着していない者、および関係者以外の立ち入りを禁止する。漏出した本製品に触れたり、その上を歩いたりしないこと。蒸気の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は、適切な呼吸器を装着する。適切な防護装備を装着する。
- 緊急時対応者 : 漏出対応時に特別な防護服が必要な場合は、第 8 節に記載されている適切および不適切素材に関する情報に留意する。「非緊急時対応者」に関する情報も参照する。
- 環境に対する
注意事項 : 漏出した本製品の散布、流出、ならびに土壌、河川、排水路および下水への排出を避ける。本製品による環境汚染（下水、河川、土壌または空気）が生じた場合は、関連機関に通知すること。

回収および洗浄の方法と素材

- 小規模な漏出 : 危険を冒さずに作業ができる場合は、本製品の漏出を止める。漏出現場から容器を取り除く。水で希釈し、水溶性の場合はモップなどで拭き取る。不水溶性の場合は、不活性の砂などに吸着させ、適切な廃棄物容器に収める。認可を受けた廃棄物処理業者に委託して処理する。
- 大規模な漏出 : 危険を冒さずに作業ができる場合は、本製品の漏出を止める。漏出現場から容器を取り除く。対処時は、風上から作業を行う。下水、水路、地中、または密閉区域への流入を避ける。漏出物を洗浄して汚水処理施設へと流すか、次の手順で処理する：砂、土、バーミキュライト、珪藻土などの不燃性の吸収材を用いて漏出物を回収し、地方自治体の定める規則に従って廃棄用の容器に収める（第 13 節を参照）。認可を受けた廃棄物処理業者に委託して処理する。汚染された吸収材は、漏出した本製品と同等の危険有害性をもたらす可能性がある。注意：第 1 節の緊急連絡先、ならびに第 13 節の廃棄上の注意を参照すること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

安全に取扱うための注意

- 防護措置 : 適切な防護装備を装着する（第 8 節を参照）。本製品を口に入れないこと。目、皮膚、衣服との接触を避ける。蒸気の吸引を避ける。元の容器、または混合可能な素材で作られた、認可されたその他の容器に保管する。使用しない場合は容器を密閉する。空の容器には本製品が残留し、危険なことがある。本容器は再使用しない。

一般的な

産業衛生に関する

- 注意事項 : 本製品の取扱い、保管、および加工が行われる場所での飲食および喫煙は厳禁とする。作業員は、飲食および喫煙前に手と顔を洗うこと。衛生措置に関する詳細については、第 8 節も参照すること。

安全な保管の条件

(混触危険性を

含む) :

地方自治体の規定に従って保管する。密閉できる元の容器に収め、乾燥した低温の換気のよい場所に保管する。直射日光から保護する。混触危険素材（第10節を参照）とは別に保管する。食品、飲料および動物資料とは別に保管する。容器は密閉する。開封した容器は再び厳重に封をし、漏出を避けるために立てて保管する。容器には必ずラベルを貼付する。環境汚染を避けるため適切な容器を使用する。

8. ばく露防止／人員保護措置

制御設定値

職業ばく露限度 : なし。

適切な工学的制御 : 空中浮遊汚染物質によるばく露を制御するために、十分な換気を確実に行う。

環境ばく露制御 : 環境保護に関する法律に定められた規定を確実に遵守するために、換気装置または作業装置からの放出物を確認する。

個人の防護手段

衛生措置 : 飲食、喫煙、および作業工程の最後に洗面所を使用する前に、化学製品を扱った後は手、前腕、および顔を洗う。作業場の近くに目の洗浄設備と安全シャワーを設置する。

眼 / 顔用保護具 : 液体の散水、蒸気、ガスまたは塵へのばく露を回避するために、リスクアセスメントが必要であると示唆している場合は、承認された基準に準拠した安全ゴーグルを着用する。目や顔に接触する可能性がある場合は、リスクアセスメントが高い防護可能性を示唆していない限り、化学スプラッシュゴーグルを着用する。

皮膚の保護

- 手の保護 : リスクアセスメントが必要であると示唆している場合は、化学製品を扱う際に承認された基準に準拠した耐薬品性・不浸透性手袋を着用する。手袋製造元から提示された設定値を考慮して、使用時に手袋が保護性能を保持しているかどうかを確認する。手袋の素材による手袋の寿命は、手袋製造元によって異なることに留意すること。複数の物質から成る混合素材の場合、手袋の保護性能持続期間を正確に予測することができない。
- 体の保護 : 実行する業務およびそれに伴うリスクに基づいて、体用の防護装備を選択する。本製品の取扱い前に、防護装備に対する専門家の承認を受けること。
- その他の皮膚保護 : 実行する業務およびそれに伴うリスクに基づいて、適切な靴を着用し、追加の皮膚保護措置を行う。本製品の取扱い前に専門家の承認を受けること。
- 呼吸保護具 : リスクアセスメントが必要であると示唆している場合は承認された基準に準拠した、適切なサイズの空気清浄または送気マスクを使用する。既知または予測されているばく露レベル、本製品の危険有害性、および呼吸器の安全稼働限度に基づいて、呼吸器を選択する。

9. 物理的・化学的性質

形状

- 物理的状态 : 液体（わずかな粘性あり）
- 色 : 琥珀色
- 臭い : データなし
- 臭気限界 : データなし
- pH : 9.5～10.5
- 融点 : データなし
- 沸点 : 100°C (212°F)
- 引火点 : データなし
- 蒸発速度 : データなし

可燃性	
(固体、気体)	: データなし
可燃または爆発	
限界の上限 / 下限	: データなし
蒸気圧	: <0.13 kPa (<1 mm Hg) (常温)
蒸気密度	: データなし
相対密度	: 1.01
溶解性	: 次の物質に容易に溶解する: 冷水および温水
分配係数	
(n-オクタノール / 水)	: データなし
自己発火温度	: データなし
熱分解温度	: データなし
粘度	: データなし

10. 安全性および反応性

反応性	: 本製品または成分の反応性に関する特定のテストデータはなし
化学安定性	: 本製品は安定している
危険有害	
反応可能性	: 通常の保管および使用下では、危険有害反応は発生しない
避けるべき条件	: 特定のデータなし
混触危険物質	: 次の物質に反応する、または混合不可: 酸化物、酸
危険有害な	
分解生成物	: 通常の保管および使用下では、危険有害分解生成物は発生しない

11. 有害性情報

有害性による影響に関する情報

急性毒性

製品 / 成分名	結果	種	服用量	ばく露
アルコール、C9-11、エトキシル化 水酸化カリウム	LD50 Dermal	ウサギ	>2 g/kg	-
	LD50 Oral	ラット	1378 mg/kg	-
	LD50 Oral	ラット	1870 mg/kg	-

皮膚腐食 / 刺激

データなし

感作

データなし

発がん性

データなし

特定の標的器官毒性 (単回ばく露)

名称	カテゴリー	ばく露経路	標的器官
水酸化カリウム	カテゴリー3	なし	気道刺激性

特定の標的器官毒性 (反復ばく露)

データなし

吸引危険性

データなし

可能性のあるばく露

経路の情報 : 経皮、目への接触、飲み込み

健康への潜在的急性影響

- 目に入った場合 : 深刻な目の炎症を引き起こす。
- 吸入した場合 : 分解生成物へのばく露により、健康に対する危険有害性を引き起こす可能性がある。ばく露後、深刻な影響による発症が遅れる可能性がある。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚炎症を引き起こす。
- 飲み込んだ場合 : 口、喉および胃の炎症を引き起こす。

物理的、化学的、毒物学的特徴に関する症状

- 目に入った場合 : 潜在的な不快症状には、以下のものが含まれる：
痛みまたは炎症
涙目
充血
- 吸入した場合 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。
- 皮膚に付着した場合 : 潜在的な不快症状には、以下のものが含まれる：
炎症
発赤
- 飲み込んだ場合 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。

短期間 / 長期間ばく露による遅発性、即時性および慢性効果

短期間ばく露

- 潜在的な即時性効果 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。
- 潜在的な遅発性効果 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。

長期間ばく露

- 潜在的な即時性効果 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。
- 潜在的な遅発性効果 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。

健康への潜在的慢性効果

- 一般事項 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。
- 発がん性 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。
- 変異原性 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。
- 催奇形性 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。
- 発生效果 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。
- 生殖能力に対する
影響 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。

有害性の数値尺度

急性有害性の推定値

データなし

12. 環境影響情報

毒性

製品 / 成分名	結果	種	ばく露
アルコール、C9-11、エトキシ化 水酸化カリウム	急性 EC50 5.36 mg/L 淡水	甲殻類・ニセネコゼミジンコ・新生児	48 時間
	急性 EC50 2686 µg/l 淡水	ミジンコ・オオミジンコ・新生児	48 時間
	急性 LC50 8500 µg/l 淡水	魚・ファットヘッドミノ	96 時間
	急性 LC50 630000～670000 µg/l 淡水	甲殻類・ニセネコゼミジンコ	48 時間
	急性 LC50 650000～820000 µg/l 淡水	ミジンコ・オオミジンコ	48 時間

残留性および分解性

データなし

生体内蓄積性

データなし

土壌中の移動性

土壌 / 水分配係数 (Koc) : データなし

その他の有害影響 : 深刻な影響または重大な危険有害性の知見なし。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の排出はできる限り回避または最小限に抑える。本製品、溶液、および副製品は、環境保護および廃棄に関する法律に定められた規定、ならびに地方自治体の定める規定に従って廃棄する。剰余生産物およびリサイクル不可製品の廃棄は、認可を受けた廃棄物処理業者に委託して処理する。管轄権を持つ全ての機関の定める規定に完全に準拠している場合を除いて、未処理のまま廃棄物を下水に放出してはならない。空容器はリサイクルする。焼却または埋め立ては、リサイクルが不可能な場合にのみ検討すること

と。本製品および容器は、安全な方法で処理されなければならない。洗浄またはすすいでいない空容器を取扱う際は、細心の注意を払うこと。空容器またはライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。漏出した本製品の散布および流出、ならびに土壌、河川、排水路、および下水への接触を避ける。

14. 輸送上の注意

	DOT (米運輸省) 分類	IMDG (国際海上危険物規則)	IATA (国際航空運送協会)
UN 番号	規制対象ではない。	規制対象ではない。	規制対象ではない。
UN 正式品名	-	-	-
輸送危険物クラス	-	-	-
容器等級	-	-	-
環境に対する危険有害性	なし	なし	なし
追加情報	-	-	-

AERG : 該当なし。

取扱者に対する注意 : **取扱者の敷地内における輸送** : 安定して立ててある密閉した容器で常に輸送する。本製品の輸送担当者は、事故または漏出が発生した場合の対処方法を知っていること。

MARPOL 73/78 の
 付属文書 II および
 IBC コードによる
 バルク輸送

: 該当なし。

15. 適用法令情報

米国連邦規制 : TSCA セクション 8(a) CDR 課税免除 /部分的課税免除 : 未定

米国インベントリー (TSCA 8b) : 全ての成分は記載されているか、課税免除対称となっている。

大気汚染防止法 (CAA) セクション 112 (b) 有害大気汚染物質 (HAPs)

不掲載

大気汚染防止法（CAA）セクション 602 クラス I 物質

不掲載

大気汚染防止法（CAA）セクション 602 クラス II 物質

不掲載

DEA リスト I 化学物質（前駆的化学物質）

不掲載

DEA リスト II 化学物質（本質的化学物質）

不掲載

SARA 302 / 304

組成 / 成分情報

対象物質なし。

SARA 304 RQ : 該当なし。

SARA 311/312

分類 : 健康への即時性（急性）危険有害性

組成 / 成分情報

名称	%	火災危険	突発的な圧力解放	反応性	健康への即時性（急性）危険	健康への遅延性（慢性）危険
アルコール、C9-11、エトキシル化	5 - 10	なし	なし	なし	あり	なし
テトラナトリウム、エチレンジアミンテトラアセタート	1 - 5	なし	なし	なし	あり	なし
水酸化カリウム	1 - 5	なし	なし	なし	あり	なし

米国州規制

マサチューセッツ州 : 不掲載

ニューヨーク州 : 不掲載

ニュージャージー州 : 不掲載

ペンシルバニア州 : 不掲載

米国カリフォルニア州修正案 65

対象物質なし。

16. その他の情報

履歴

作成日 : 2014年4月30日
版 : 1
改定節 : 該当なし。
作成元 : KMK Regulatory Services Inc.

略語一覧 : ATE = Acute Toxicity Estimate (急性毒性概算値)
BCF = Bioconcentration Factor (生物濃縮係数)
GHS = Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (化学品の分類および表示に関する世界調和システム)
IATA = International Air Transport Association (国際航空運送協会)
IBC = Intermediate Bulk Container (中型容量コンテナ)
IMDG = International Maritime Dangerous Goods (国際海上危険物)
LogPow = logarithm of the octanol/water partition coefficient (オクタノール / 水分配係数)
MARPOL 73/78 (マルポール 73/78 条約) = International Convention for the Prevention of Pollution From Ships, 1973 as modified by the Protocol of 1978. ("Marpol" = marine pollution) (1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書(「マルポール」=海洋汚染))
UN = United Nations (国際連合)

本書閲覧者への注意事項

本書に記載されている情報は、弊社の知る限りにおいて正確である。ただし、上記に記載されている販売元、およびその子会社は、本書に記載されている情報の正確性および完全性について、いかなる責任も負わないものとする。物質の適合性に対する最終判断は、使用者の単独の責任によるものとする。全ての物質は確認されていない有害危険性を生じさせる可能性があるため、使用する際は細心の注意を払うこと。本書には特定の危険有害性が記載されているが、これらが存在する唯一の危険有害性であることを保証するものではない。